

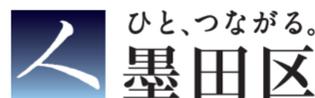
墨田区のお知らせ

No.2127

2024年(令和6年) 12/11

毎月1日・11日・21日発行

- ◆2面以降の主な内容
- 2・3面・・・令和5年度決算と6年度上半期財政状況
- 4・5面・・・秋の叙勲・褒章等
- 5～8面・・・講座・教室・催し・募集



墨田区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

発行：墨田区(広報広聴担当) ☎5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

<https://www.city.sumida.lg.jp/>



「私」を大切に
わたしが、すぎ。

守るために、 知ろう。受けよう。 「HIV」・「性感染症」・ 「HPVワクチン予防接種」

HIV感染により免疫力が低下すると、様々な病気を発病しやすくなります。また、近年は性感染症の感染者が増加しているほか、女性特有のがん等の発生原因となるHPV感染への対策が進められています。いずれの病気も、早期発見・治療が最も大切です。自分や大切な人を守るために、検査やワクチン接種を受けましょう。
[問合せ]保健予防課感染症係 ☎5608-6191



HIV・性感染症

— HIV(ヒト免疫不全ウイルス)って? —

様々な細菌やカビ、ウイルスなどの病原体から体を守る働きをする「免疫」。この「免疫」を保つために重要な細胞に感染するウイルスです。

— 「HIV」と「エイズ」の関係 —

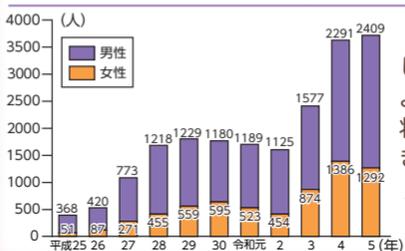
HIVが免疫細胞に感染すると、免疫力が低下し、様々な病気にかかりやすくなります。この状態で、指定疾患のいずれかを発症した場合に「エイズ(後天性免疫不全症候群)」と診断されます。

HIV感染が、エイズの原因になるんだね。

— 「性感染症」、どのくらい知っていますか? —

性感染症とは、性器クラミジア感染症や梅毒など、多くは性行為が原因で感染する病気です。不妊の原因となったり、神経や心臓などに深刻な合併症や後遺症が残ったりする場合があります。

増えています! 誰もが感染する病気「梅毒」



近年、梅毒の感染者が急増しています。主に性行為によって感染しますが、無症状の場合があり感染に気づきにくい危険な感染症です。

◀都内の患者報告数の推移(平成25年~令和5年)
*東京都感染症情報センターから引用

男女とも、かかる病気なんだね



誰でも、匿名・無料・予約不要で
「HIV抗体(エイズ)検査」・「梅毒検査」が受けられます

各検査は、住所要件がなく誰でも受けられます。自分や大切な家族・パートナーのためにも、積極的に検査を受けましょう。

[とこ]すみだ保健子育て総合センター(横川5-7-4)

[定員]各先着20人 *梅毒検査のみの受診は不可

通常検査(検査と結果説明を別日で実施)は毎月1回実施しています。受付日時や申込方法等の詳細は、区HPをご覧ください。



HPV

— HPV(ヒトパピローマウイルス)って? —

性行為の経験がある女性の半数以上が生涯で1度は感染するとされている一般的なウイルスです。子宮頸がんをはじめ、膣がんや肛門がん、不妊の原因になりうる病気等の発症に深く関わっています。

「HPVワクチン接種」でHPV感染を予防できます
小学校6年生~高校1年生相当の女性は無料(公費)接種の対象です

HPVワクチンは、特に子宮頸がんの原因となりやすいウイルスの感染を予防するワクチンです。HPVワクチンは下記の3種類で、区では接種時に必要な予診票を中学校1年生になる年度当初に発送しています。

シルガード®9	ガーダシル®	サーバリックス®
1回目の接種を15歳になるまでに受ける場合(2回接種)	0か月 1回目 2か月 2回目 6か月 3回目	0か月 1回目 1か月 2回目 6か月 3回目
1回目の接種を15歳になってから受ける場合(3回接種)	0か月 1回目 2か月 2回目 6か月 3回目	0か月 1回目 1か月 2回目 6か月 3回目

どのワクチンを接種するかは、接種する医療機関にご相談ください。

[接種会場]区内の各小児予防接種実施医療機関 *接種には区から発送する予診票が必要(再発行可) *詳細は区HPを参照



平成9年4月2日~20年4月1日生まれの女性で、HPVワクチン定期接種の対象年齢(小学校6年生~高校1年生相当)の間に接種を逃した方へ、無料(公費)で接種ができる「キャッチアップ接種」を実施しています。なお、キャッチアップ接種には期限がありますが、厚生労働省で接種期限の延長等が検討されています。詳細は区HP(上記コード)をご覧ください。

